

帝キネ 時代映畫

原作並脚色者 高井清太郎  
監督者 長尾史録  
撮影者 谷口禎

——主要役割——

若様爲吉 實川延松  
火消藤吉 岩井竹松  
黒手の大吉 林誠太郎  
い組の平太郎 實川延松  
立花の瀬平 嵐寛十郎  
龍門留吉 喜多見順  
藝者おかん 千草香子  
兄初藏 東真之助  
藝者おさみ 巴蝶子  
格屋才二郎 尾上松二  
爲吉の母 園千枝子

解説——長尾史録氏の「彌次喜多再興」に次ぐ作品である。

略筋——い組の爲吉は性來の臆病者であつた。彼は藝者おさみに想を寄せてゐたが、おさみは男らしくない彼を嫌つてゐた。

或日爲吉は母親から貰つた甘雨をおさみに與へやうとしたが、却つておさみにひどく恥じをかゝされて了つた。その氣晴らしにさ彼は誰彼の差別もなくその金をふるまいて男を賣らうとした。常々い組は犬猿も只ならぬ仲のよ組の瀬平がおさみを掠つて行つたと云ふ知らせを聞いた爲吉は奮然として立ち、亂闘の末おさみを救ひ出す事が出来た。さ、其時である、半鐘の音が突如鳴り響いた。空の一角は赤く焼け切め

る。そしてい組さよ組の凄じい争ひが捲き起されたのであつた。

その争の中に、これまで臆病者として輕蔑されてゐた爲吉が、雄々しくも焔の眞只中に纏を高く振りかざしてゐる姿が見られた。